

## ENIGMA Semi-Full SF2510 Z125 Proの取り付け接続方法

本マニュアルの対応機種 下記組み合わせ以外には対応しません。

対応 ENIGMA ENIGMA Semi-FullSF2510RTF

対応車両 KAWASAKI Z125Pro

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。

基本的な対応車両の整備知識が必要です。

サービスマニュアルに従ってECUと配線が作業できるようにシートを取り外してください。

ノーマル車両のシートを取り外すとシート下にECUがゴムで取り付けられています。

ECUに繋がっているカプラーを取り外し、ENIGMA Semi-Full のカプラーと接続してください。

ENIGMA Semi-Full 本体は過度な振動や雨水等がかからないよう、近くに固定してください。

配線の切断接続作業は一切ありません。

作業が終わりましたら使い方マニュアルをよく読んで正しくお使いください。

**本体に直接水がかからないようにしてください。また配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。**

■ **ムラサキ線はサービス出力線です。** ENIGMA Semi-Full はクランク 1 回転に 1 回／クランク 2 回転に 1 回 (ソフトにて切り替え可能)、5 V を出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。

この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。

必要が無い時はテーピングして絶縁・防水処理をしてください。

■ **白線はピットインリミッタースイッチ用です。**

必要が無い時はテーピングして絶縁・防水処理をしてください。

■ **薄緑線はマップ切替スイッチ用です。**

必要が無い時はテーピングして絶縁・防水処理をしてください。

**サービス出力線（紫）、ピットインリミッタースイッチ用線（白）、マップ切替スイッチ用線（薄緑）は、スパイラルチューブで巻き付けてある線の中にあります。**

**必要に応じてスパイラルチューブの中から線を取り出して延長するなどしてご使用下さい。**

■ **PC用ソフトは機種専用 ENIGMA Semi-Full Z125Pro 用ソフトをお使いください。** 他のバイク用ソフトや ENIGMA の他シリーズ用ソフトはご利用になれません。

■ **iOS 用アプリ、Android アプリは ENIGMA Semi-Full 専用アプリをお使いください。**

**ENIGMA Semi-Full 専用アプリは、アプリ内で Z125Pro 専用バイクモデルを購入することにより Z125Pro 用 ENIGMA Semi-Full で使用することができます。**

**他のバイク専用のバイクモデルや ENIGMA の他シリーズ用のアプリは使用できません。**

■ **PC用ソフトやマニュアルは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。** iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com>

- ※ Z125 はエンジンが停止中は FI ランプはエラーが無くても点灯しています。エンジンが始動すると、通常 FI ランプは消灯します。  
ENIGMA Semi-Full 接続後アクセル全開でイグニッションキーON すると ENIGMA Semi-Full は通信状態となり、この状態を視覚的に確認するために FI ランプを点滅させますが、エンジンが始動するまでは、FI ランプは点灯したままとなります。この状況でも通信は可能です。エンジンが始動すると、通信状態中は FI ランプが EASY モード中は 2 回 / PRO モード中は 3 回点滅します。  
アクセルオフでイグニッションキーON のときは ENIGMA Semi-Full は通信しない状態となり、エンジンが始動すると FI ランプは通常通り消灯します。この状態でも ENIGMA Semi-Full の燃料調整機能やリミッター機能は働いていますので、セッティングなどを行わないときは、アクセルオフのイグニッションキーON でお使いください。
- ※ Z125 用 ENIGA Semi-Full を取り付けるとノーマル ECU が持っている 9200 回転の燃料リミッターと 11,000 回転の点火リミッターをキャンセルします。PC やスマホで、ENIGMA Semi-Full のレブリミッターを 11,000 回転以上に設定して、11,000 回転以上エンジンを回すと、ノーマル ECU が点火異常のエラーを検出し FI ランプが点灯します。エラーは検出されるだけで、ECU は非常モードに入ることはありません。  
FI ランプが点灯したままでも走行に問題はありませんが、もし他のエラーが発生した場合に解りません。FI ランプを消すにはその都度、KAWASAKI の販売店や当社別売の DDCS 等にてエラーを消去する必要があります。また点火異常エラーだけが発生している時にメインキーの OFF→ON 時にエラーを自動で消去することができる当社別売の AUTO DDCS もあります。  
そもそも点火異常エラーを発生させたくない方は、ENIGA Semi-Full のレブリミッター設定を 11,000 回転以下にしてください。
- ※ O2 センサーを取り外す場合、別売のブラインドカプラーセットが必要です。

## ピットインリミッタースイッチの設置

ENIGMA Semi-Full から出ている「白線」はピットインリミッタースイッチ設置の為の配線です。ピットインリミッターは外部スイッチONの時だけ速度を制御するためエンジン回転を一定の回転に制御します。この機能を使用したい方は以下の作業を行って下さい。

一般に市販されてるお好みのスイッチを購入して、使いやすい位置に設置して下さい。  
(ハンドルに取り付ける場合は運転の妨げにならない操作しやすい場所に設置します)  
スイッチは「ON」で通電／OFFで遮断する一般的な仕組みの物です  
押している時だけONになる物は適しません。ご注意下さい。

設置が終わったら ENIGMA Semi-Full の白線を繋ぎます。通常はスイッチには2つの端子が有りますので片方に白線を接続。もう片方は確実に「ボディーアース」出来る場所に繋ぎます。

**※ もっとも確実なのはバッテリーマイナスに繋ぐ事です。間違っ**てプラスに繋ぐと回路が焼け落ち使用不能になります。絶対に行わないで下さい。

以上の作業でピットインリミッタースイッチの設置は終了です。

- **ピットインリミッター用の配線を使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。**

## マップ切替スイッチの設置

ENIGMA Semi-Full から出ている「薄緑線」はマップ切り替えスイッチ設置の為の配線です。

ENIGMA Semi-Full 内部には2つのマップを保持することができます。

マップ切り替えスイッチでこの2つのマップを瞬時に切り替える事ができます。この機能を使用したい方は以下の作業を行って下さい。

一般に市販されているお好みのスイッチを購入して、使いやすい位置に設置して下さい。

(ハンドルに取り付ける場合は運転の妨げにならない操作しやすい場所に設置します)

スイッチは「ON」で通電／OFFで遮断する一般的な仕組みの物です。

押している時だけONになる物は適しません。ご注意ください。

設置が終わったら ENIGMA Semi-Full の薄緑線を繋ぎます。通常はスイッチには2つの端子が有りますので片方に薄緑線を接続。もう片方は確実に「ボディーアース」出来る場所に繋ぎます。

**※もっとも確実なのはバッテリーマイナスに繋ぐ事です。間違っってプラスに繋ぐと回路が焼け落ち使用不能になります。絶対に行わないで下さい。**

以上の作業でマップ切り替えスイッチの設置は終了です。

マップ切り替えを有効にして2つのマップを使用するには、PCソフトやスマホアプリで設定が必要です。

- **マップ切り替え用の配線を使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。**
- **マップ切り替えをする場合には、不意に切り替わった場合のエンジントラブルを避けるため、始動前に必ず両方のマップにデータを転送してください。**